

50代からの「声筋」トレーニング

最近、声が出にくくなつたと感じることはありますか。

加齢によるものだから仕方ないと放置していると、誤嚥などの健康被害を引き起こす原因にもなります。

普段のケアとトレーニングでできる改善方法を、音声言語医学を専門とする渡邊雄介先生に伺いました。



声筋の衰えが健康状態を左右する

若い頃に比べて、声がかされたり、高い声が出にくくなつたと感じている原因の多くは、加齢によって声を出す筋肉「声筋」が弱くなつてしまつたことにあると考えられています。

声筋は、声を発する上で最も重要な働きをしている「声帯」の筋肉群の総称で、渡邊先生が考えた造語です。声筋は筋肉ですから年齢を重ねるにつながり、自然に弱くなります。声がかれたり、老け声になつたり、話す途中で咳をしたり、食事中にむせたりするのは、声筋が弱っているからです。

喉の主な役割に、「呼吸、飲み込み、発声」があります。喉の力が衰えると起こりやすい健康危機に、次の4つがあります。

④いざという時に力が入らない

力を込めるとき人は無意識に喉を締めています。喉の力が衰えると踏ん張りがきかず転倒したりする危険性も高くなりります。

「の／の／発声法」で声筋を鍛える

人は、意識して声筋を鍛えましょう。

声帯がピタッと閉じなくなり、声を出す時に息漏れすることで息苦しさを感じるようになります。

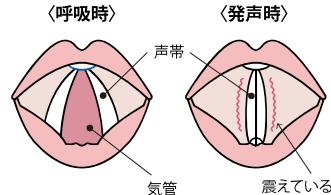
①息が続かない
声帯がピタッと閉じなくなり、声を出す時に息漏れすることで息苦しさを感じるようになります。

②誤嚥しやすくなる
声帯が老化すると老け声になり、老け声が恥ずかしくて人と話さなくなると認知機能の低下にもつながります。

まずは現在の声帯の健康状態を把握するために「あーテスト」を行つてみましょう。まずはリラックス、大きく息を吸つて「あー」と長く声を出します。男性で30秒、女性で20秒ほど声を出し続けることができれば健康だと判断できます。15秒以下だと老化のサイン、10秒以下の場合は耳鼻咽喉科の受診をお勧めします。ストロボスコープがあり、言語聴覚士が2名以上いる医療機関であれば診断もスムーズにできます。

まずは現在の声帯の健康状態を把握するために「あーテスト」を行つてみましょう。まずはリラックス、大きく息を吸つて「あー」と長く声を出します。高齢者は、体内の水分量が減少することで、声帯が乾燥してきれいで振動できなくなり、声が出にくくなります。

「あーテスト」で声筋の状態を把握



声帯は、息を吸うときは「開き」、発声時は「閉じて」震えている。

声筋を鍛える代表的なトレーニングを2つ紹介します。

声筋を鍛える代表的なトレーニングを2つ紹介します。

声筋を鍛える代表的なトレーニングを2つ紹介します。



声筋トレーニング

①ストロー発声法



ストローをくわえて「うー」と5秒以上、発声する。これができたら、ストローをくわえたまま「うー／うー／」と低音から高音へ鼻に抜けるように発声する。

②の／の／発声法



口を逆メガホン型になるようそばめて、6~10秒間かけて「の／の／」と、低音から高音へ鼻に抜けるように発声する。10回を1セットに、1日2~3セット行う。

- 会話の最中、聞き返されることが増えた
- 得意だった曲を上手に歌えなくなった
- ペットボトルのふたが開けづらい
- 食事中やお茶を飲むとき、よくむせる
- 話しそうで喉が痛くなると、治りづらい
- マスクをしていて、呼吸が異常に苦しい
- 長時間話すと、息苦しくて疲れる
- トイレでいきむことが難しく、便秘気味
- よろけたとき、踏ん張れなくて倒れることがある
- 最近、家族以外の人と話す機会が減った

参考：「NHKまる得マガジンMOOK 専門医直伝！健康のどしのすすめ」

コロナ禍による声筋への影響

2020年3月に発令されたコロナ禍の緊急事態宣言以降、人々のコミュニケーション機会が激減しました。話す相手も機会もなくなり、声を出す回数が減ったことで、喉の筋肉が衰え、ボイスセンターを訪れる患者さんは約2割増えました。

患者さんの中には、声がかれる、食べ

物を飲み込むときにもせるといった症状を訴える方が多くいます。特に、歌が歌えない、声が出にくいといった症状を訴える人が増えています。また、以前は長時間話すことができた人でも、10分程度で疲れてしまうと訴える方もいます。

これらは、喉の筋肉が衰えた結果、声

の質が低下したことであらわれた症状だと考えられます。

しかし、一時的な不調は、リハビリを行うことで機能回復の可能性があります。

このような症状を感じた方は、専門の医療機関を訪れるをお勧めします。



監修：渡邊 雄介先生

山王メディカルセンター 副院長
国際医療福祉大学 東京ボイスセンター長

近著『毎日10分 長生き風呂カラオケ』
(中央公論新社)



Mさん(女性50代)の両親(80代)は、車で2時間ほど実家で、Mさんの姉と3人で暮らしています。両親にとっては長女で、Mさんは次女。「実は姉と父が不仲なのです。姉は働いていませんが、家事を母任せ」とMさんは息をきます。最近、母親の腰の具合が悪く、家事をするのも難しくなってきています。しかし、姉はスーパーで総菜を買ってくるくらいで、家のことはほとんど何もしません。仕方なく、Mさんが週末に実家に行き、掃除や家事を行っています。父親が姉に文句を言うと、姉も言い返すため怒鳴り合いになるそうです。

Mさんのところに限った話ではなく、こうした悩みを日々耳にします。親との関係は、親ごとに異なり、自分は親と良好な関係であるかも知れません。できれば、腹を割って話し合い、今後の両親の介護についてどのように考えているか聞きたいのです。姉の意見を聞いた上で、なるべく早く、外部の支援を入れる方が良いと思います。地域包

きょううだいの誰かが親と同居していると、安心な面もあります。けれども、そのきょううだいが親の支援や介護をしてくれるとは限りません。

姉と3人暮らしの両親が心配

介護・暮らしジャーナリスト
太田差惠子

vol.149

離れて暮らす親のケア
「いつも心は寄り添つて」

括支援センターに相談し、母親に対し介護保険の申請を行いましょう。その際、家族の関係についてもありのまま話してください。世の中、「不仲な親子」はいくらでもいます。家族だけで抱え込まず、両親に不自由が生じないように支えていく方法を一緒に考えてもらいましょう。

とらわれから自由になるヒント

精神科医 大野裕

vol.77

仮想用語に「貪饑症」という言葉があると聞きました。欲にとらわれたり、人を羨んだり、迷って愚痴ばかり言っていたりする状態です。こうした煩惱から自由になれるといふと思いますが、そう簡単には振り切れません。それは、こうしたこのこの動きが役に立つているからでもあります。

欲があるから頑張れますし、人に負けないよう努めることができます。迷いのおかげで、安易に誘惑に乗らないで済むこともあります。煩惱はこのこのアクセルとブレーキともあります。



COML 患者の悩み相談室

Vol.89

妻と同じ診察内容なのに請求額に差があるのはなぜ?

私の相談



回答者 山口育子(COML)

6月から2024年度の診療報酬改定に沿って請求がなされています。相談者はおそらく5月までは特定疾患療養管理料(診療所は225点)を請求されていたのだと思いますが、6月以降は脂質異常症、高血圧症、糖尿病が特定疾患療養管理料の対象から外れたため、生活習慣病管理料が請求されることになりました。生活習慣病管理料は(I)と(II)があり、(I)は検査と注射等が包括されていて高血圧症は660点です。(II)は包括がなく3疾患とも333点です。これらは月1回請求され、療養計画書が交付されます(2回目以降は患者側の求めがなければおむね4ヶ月ごと)。相談者は間診だけだったとのことですので、妻と同じ請求になるのではないかと思います。何かの間違いで(I)が請求された可能性もありますので、クリニックに確認してみましょう。

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

「賢い患者になりますよう」を合言葉に、患者中心の開かれた医療の実現を目指す市民グループ

電話医療相談 TEL 03-3830-0644

（月・水・金 10:00～13:00、14:00～17:00／土 10:00～13:00）
ただし、月曜日が祝日の場合は翌火曜日に振り替え



詳しくはCOML
ホームページへ

山口理事長が
パーソナリティを務める
賢い患者になろう！

ラジオNIKKI第1
第4金曜日17:20～17:40配信!
ポッドキャストでも聴けます

